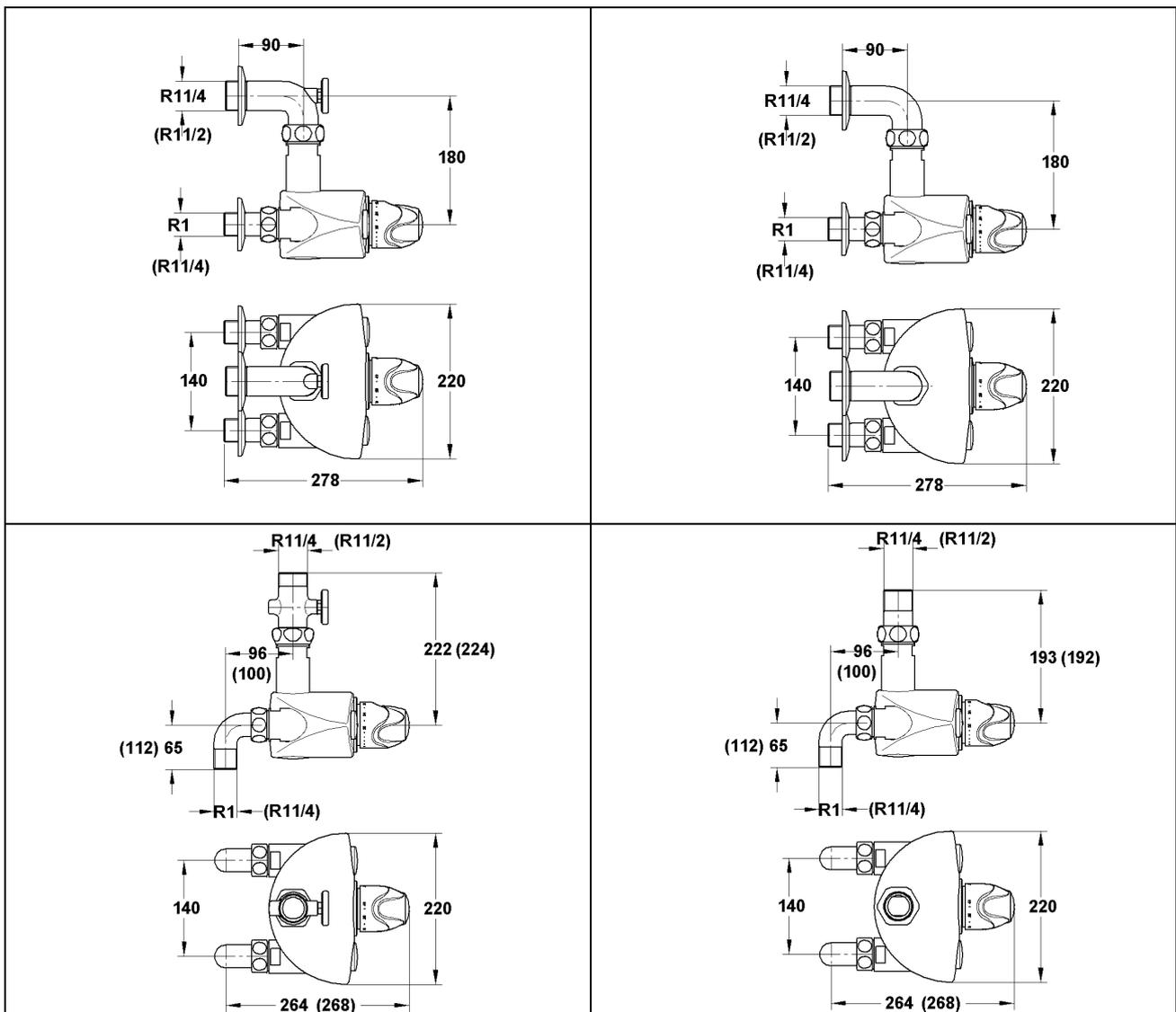


大型サーモスタット混合栓据付説明書 (お客様にお渡しください)

据付業者さまへのお願い

- 製品の機能が十分に発揮されるように、この据付説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 据付完了後、試験運転を行い、異常が無いことを確認するとともに、「取扱説明書」にそってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
また、この説明書は、お客様で保管頂くように依頼してください。

完了図



安全上の注意

施工前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく施工してください。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様ではありませんので、水抜きには工具を必要とします。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

施工完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

使用条件

● 給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器（ボイラー、電気温水器）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(0.05Mpa [0.5kgf/C㎡])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C㎡])の範囲とします。

給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

◇ガス給湯器（比例制御式：16号相当）と組み合わせる場合

流動圧で最低必要圧力(A+0.05Mpa [0.5kgf/C㎡])～(最高圧力0.74Mpa [7.5kgf/C㎡])の範囲とします。給水・給湯圧力はできるだけ同圧（最大3：1以内）になるようにしてください。

※Aはガス給湯器の最低作動圧力です。

※以上は下記の条件を想定して設定されて降ります。

ハンドルは全開です。

ガス給湯器との組合せ条件が最も悪い冬期条件（給水温度5℃、吐出温度40℃）によるものです。

給水圧力はガス給湯器直前における流動圧です。

ガス給湯器の温度調節は最高温度設定です。

◇給水圧力が0.74Mpa [7.5kgf/C㎡]を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

● 水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、必ず別途止水栓をご用意ください。

● 給湯に蒸気を使用しないでください。

● 水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

● 給湯器からの出湯温度は、使用する温度より10℃以上高くしてください。

シャワールーム等の温度コントロールにご使用の場合は、流量変化及び流動圧力の変動に対応し、且つ正確な温度を保つために使用条件を守ってください。

● 最低流量13ℓから22ℓ

（上記以上の使用量で運用してください。）

給湯・給水圧力差によって使用最低流量が変化します。

表の示す通りとなります。

● 温度変化42℃から37℃

（上記以内の温度変化が起こります。）

給湯・給水圧力差によって使用温度が変化します。

表の示す通りとなります。

● 給水・給湯圧力差4：1以内

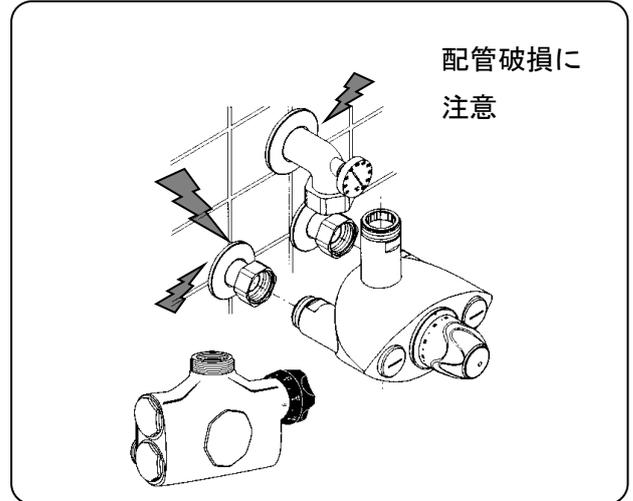
（上記以上の圧力差で使用しないでください。）

給湯・給水圧力差によって使用が困難になります。

給水圧力 MPa	0.05	0.1	0.2	0.3
給湯圧力 MPa	0.05	0.1	0.2	0.3
最低流量 ℓ/min	13	15	18	22
温度変化 ℃	42	38	37	37

据付前の注意

- 給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。
- 給水は上水道に接続してください。
※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。
- 開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。
- 必ず配管中の異物（ゴミ、砂等）を完全に洗い流してください。
- 寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないとは使用できません。
- 配管接続部を隠さないでください。必ず排水等を設けスラブへの防水を行ってください。
- 給水・給湯・吐水配管は商品重量に耐えることを確認のうえ、動かないように確実に固定してください。
- 商品重量が約10kg程度あります。商品の落下によるケガや腰痛等にご注意してください。
- 配管接続部の強度は、取り付け、取り替え等で破損等が発生しないよう考慮してください。



据付手順

●埋込配管の場合（図1）

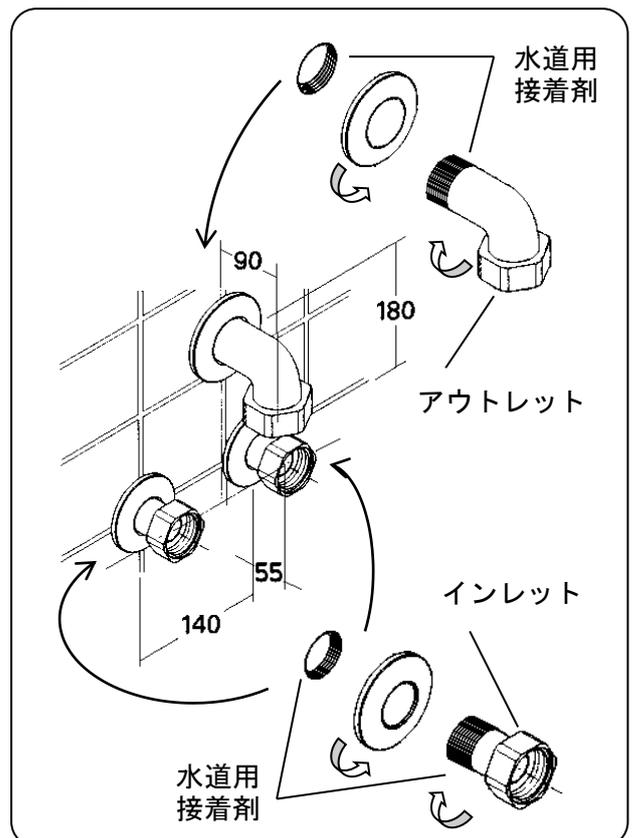
1. インレットの取り付け（図1参照）

- ① インレット配管ネジ部にフランジを手でねじ込んでください。
- ② インレット配管ネジ部にシール剤（シールテープ）等を使用し、工具等で取出し配管に右回しにネジ込みます。同時に、取出しの距離が55ミリになるよう調整し、水道用接着剤等で固定してください。
- ③ フランジを壁面に当たるまで手で右回しにいっぱいまでねじ込んでください。
※インレットは完全に固定しているか確認してください。インレットのねじ込みは規定寸法を守ってください。本体が取り付けられない場合があります。

2. アウトレットの取り付け（図1参照）

- ① アウトレット配管ネジ部にフランジを手でねじ込んでください。
- ② アウトレット配管ネジ部にシール剤（シールテープ）等を使用し、工具等で取出し配管に右回しにネジ込みます。同時に、取出しの距離が90ミリになるよう調整し、水道用接着剤等で固定してください。
- ③ フランジを壁面に当たるまで手で右回しにいっぱいまでねじ込んでください。
※アウトレットは完全に固定しているか確認してください。アウトレットのねじ込みは規定寸法を守ってください。本体が取り付けられない場合があります。

図1



●露出配管の場合（図2）

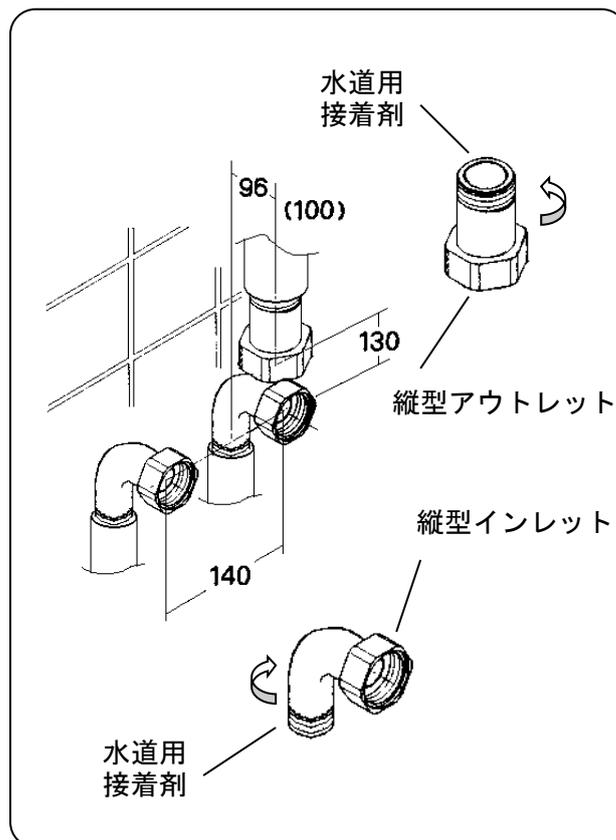
1. 縦型インレットの取り付け（図2参照）

- ①縦型インレット配管ネジ部にシール剤（シールテープ）等を使用し、工具等で取出し配管に右回しにネジ込みます。同時に、袋ナット芯の高さが同じになるよう調整してください。
- ②袋ナット面は平行になるよう調整し、取出し配管に水道用接着剤等で固定してください。
※縦型インレットは完全に固定しているか確認してください。縦型インレットのねじ込みは規定寸法を守ってください。本体が取り付けられない場合があります。

2. 縦型アウトレットの取り付け（図2参照）

- ①縦型アウトレット配管ネジ部にシール剤（シールテープ）等を使用し、工具等で取出し配管に右回しにネジ込みます。
- ②縦型アウトレット袋ナット面と縦型インレット袋ナット芯の距離が130ミリになるよう調整し、取出し配管に水道用接着剤等で固定してください。
※縦型アウトレットは完全に固定しているか確認してください。アウトレットのねじ込みは規定寸法を守ってください。本体が取り付けられない場合があります。

図2

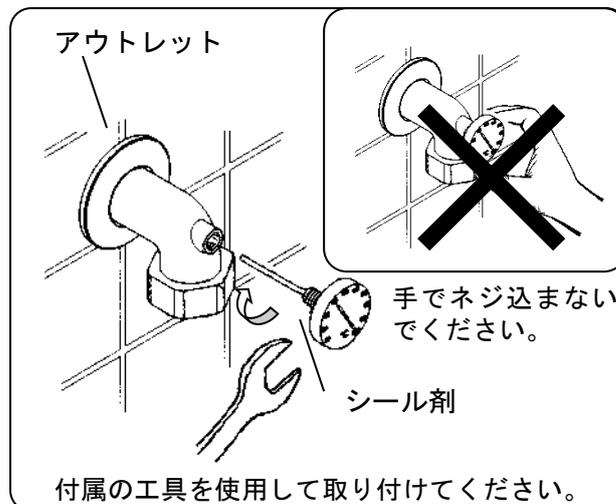


3. 温度計付の場合（図3参照）

アウトレットには温度計付と無タイプがあります。

- ①温度計ネジ部にシール剤（シールテープ）等を使用し、専用工具19016（17mmスパナ）でアウトレットに右回しにネジ込みます。同時に、読みやすい温度表示に調整してください。
※温度計のネジ込みは確実にいき、水漏れが無いのを必ず確認してください。
※温度計のネジ込みは必ず六角部で行ってください。温度表示部を持ってネジ込みますと破損、水漏れの原因になります。
※温度計付縦型アウトレット袋ナット面と縦型インレット袋ナット芯の距離が130ミリ付近になる位置で、同時に、読みやすい温度表示に調整してください。

図3

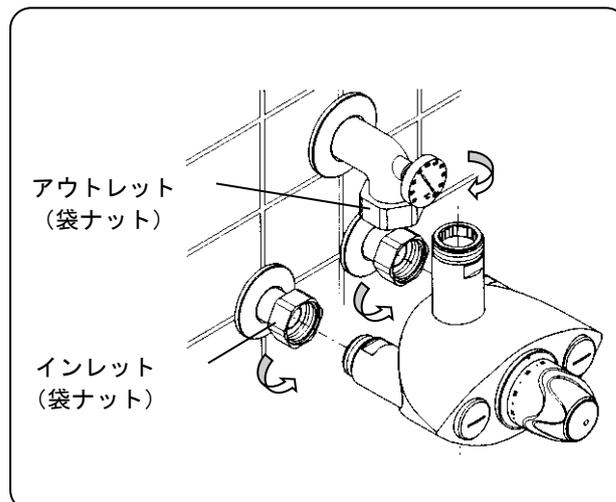


付属の工具を使用して取り付けてください。

4. 本体の取り付け（図4参照）

- ①インレット、アウトレットの袋ナットに付属のパッキンを手ではめ込んでください。
- ②アウトレット袋ナットを工具（55、65mmスパナ）で右回しにネジ込んで締め付けながら、同時にインレット袋ナットを交互に少しずつ工具（47、55mmスパナ）で右回しにネジ込んで締め付けてください。
※アウトレット、インレットの締め付けは確実にいき、水漏れが無いのを必ず確認してください。

図4



据付手順

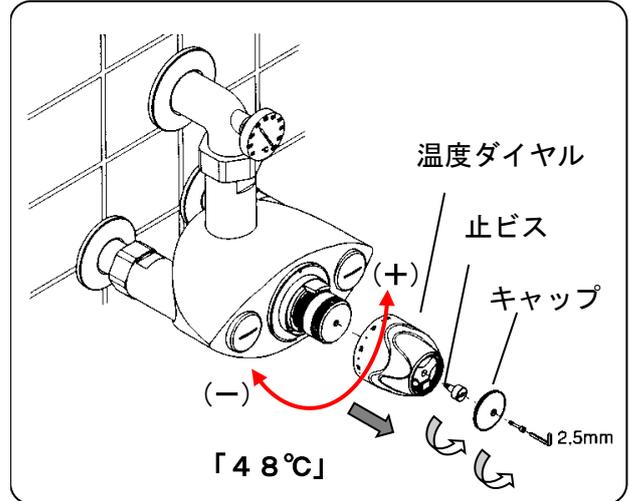
5. 温度設定の調整 (図5参照)

- ①キャップの付属ビスを2.5mm六角レンチで左回しに取り外し、キャップを引く抜きます。
- ②止ビスをマイナスドライバーで左回しに取り外し、温度ダイヤルを引く抜きます。
- ③温度調整インサートを左右に回して、48℃の適温が得られる位置にします。
- ④温度ダイヤルを、温度目盛「48」と本体の温度位置マークが合わさるように差し込んでください。
- ⑤温度ダイヤルが回らないようしっかり握り、止ネジを締めて、キャップの付属ビスを締め込んでください。

適温が得られない場合は、以下の原因が考えられます。

- 熱湯と水にしかない。
→逆配管である。
- 熱湯か水しか出ない。
→サーモスタットのごみづまり。
- 適温からしばらくすると水になる。
→水圧が異常に高い。

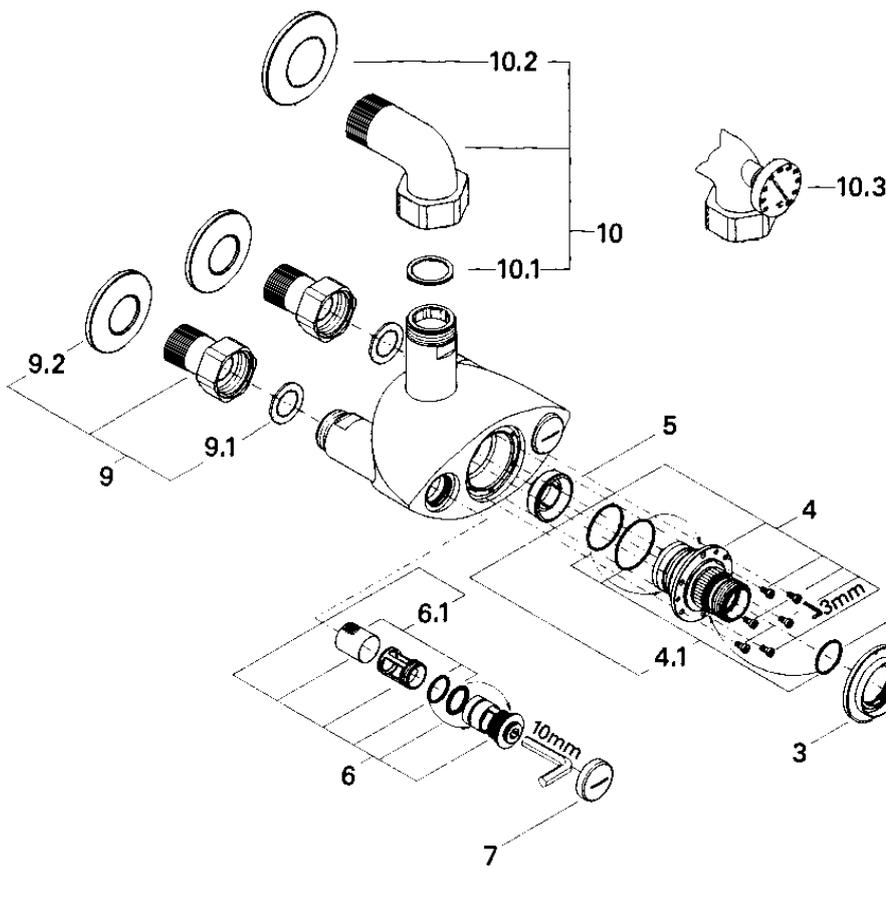
図5



資料 (流量、分解図)

圧力 (MPa)	0.05	0.1	0.2	0.3	0.5
1インチ (ℓ/min)	60	90	135	180	250
1 1/4インチ (ℓ/min)	70	105	145	200	265

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



図番	名称
1	温度ダイヤルセット
1.1	キャップ
2	ストップリングセット
3	化粧カバー
4	サーモスタットカートリッジ
4.1	調整弁リングセット
5	弁座
6	逆止弁セット
6.1	ストレーナー
7	化粧キャップ
8	
9	インレット
9.1	パッキン
9.2	フランジ
10	アウトレット
10.1	パッキン
10.2	フランジ
10.3	温度計

取り付け後の確認

取り付け完了後、必ず下記の項目を確認してください。

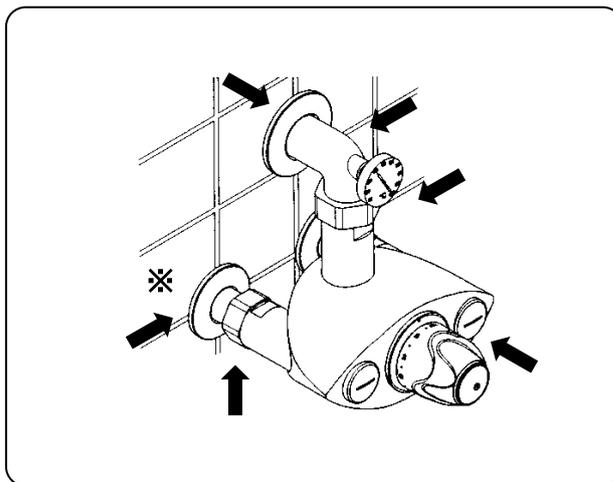
1. 接続部の水漏れ (図6参照)

吐水、止水を数回くりかえした後、図の箇所を点検します。

- 給湯管、給水管とインレットの接続部。
- インレットと本体の接続部。
- 本体と温度ダイヤルの接続部。
- 本体とアウトレットの接続部。
- アウトレットと配管の接続部。
- アウトレットと温度計の接続部

※特に、この部分は通水後漏水のない事を必ず確認し、万が一漏水が確認された場合パッキンを新品に取り替えた上、再度締付を行ってください。

図6

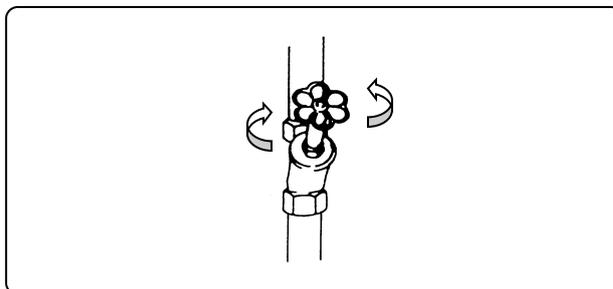


2. 水量・湯温の調節 (図7参照)

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。

※湯水の流量を同程度にすると温度調節がしやすくなります。

図7



故障と点検

※取り付け後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

止水栓
8. 全開されているか？圧力は十分か？

シーリング
5. きちんと施工されてあるか？

ストレーナー
1. ゴミづまりはないか？

逆止弁
7. 破損・ゴミかみはないか？

シーลセット
3. キズ・ゴミかみはないか？

カートリッジ
2. 破損・ゴミかみはないか？

ダイヤル
4. きちんと取り付けられているか？

ダイヤル止ビス
6. 十分に締め付けてあるか？

現象	点検箇所
吐水量が少ない	1. 2. 8
温度不良	2. 3. 4 8
ハンドルがガタつく	5. 7
壁面より漏水する	6